

令和6年度子育てしやすいまちづくりについてのアンケート結果

1 目的

草津市の「子育てしやすいまち」の成果や課題を検証するため、0歳から中学生までのお子さんをお持ちの方にアンケート調査を実施する。

■調査概要

【配付対象】	中学生以下の子のある世帯
【対象世帯数】	12,538件
【回収世帯数】	2,600件（回収率 20.7%）

参考）令和5年度実績：回収世帯数 2,259 世帯 回収率 18.2%

2 アンケート結果

■子育てしやすいまちと思う市民の割合

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえばそう 思わない	思わない	無回答	総計
未就学児	531	1130	161	35	4	1861
	89.3%		10.5%		0.2%	
小学生	79	404	78	19	2	582
	83.0%		16.7%		0.3%	
中学生	30	99	22	3	0	154
	83.8%		16.2%		0.0%	
不明	1	1	1	0	0	3
	66.7%		0.0%		33.3%	
総計	641	1,634	262	57	6	2,600
	87.5%		12.3%		0.2%	

（参考）

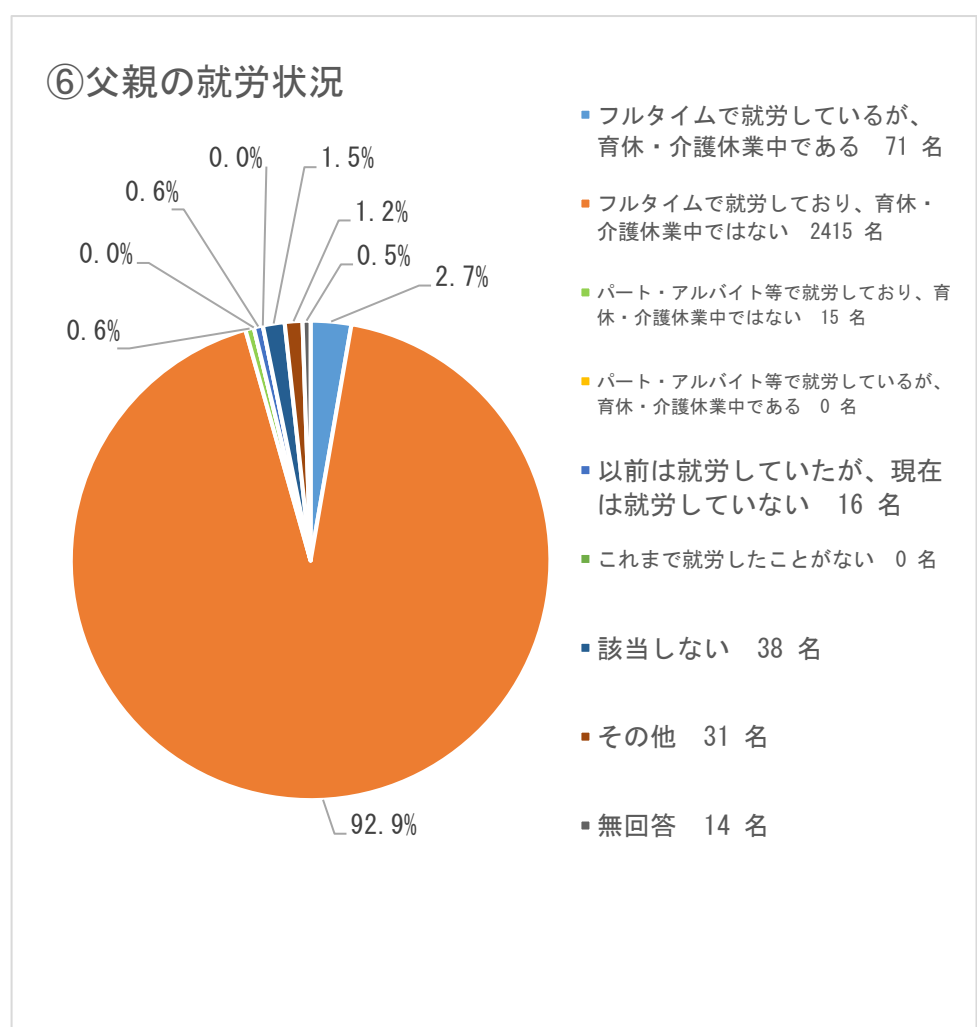
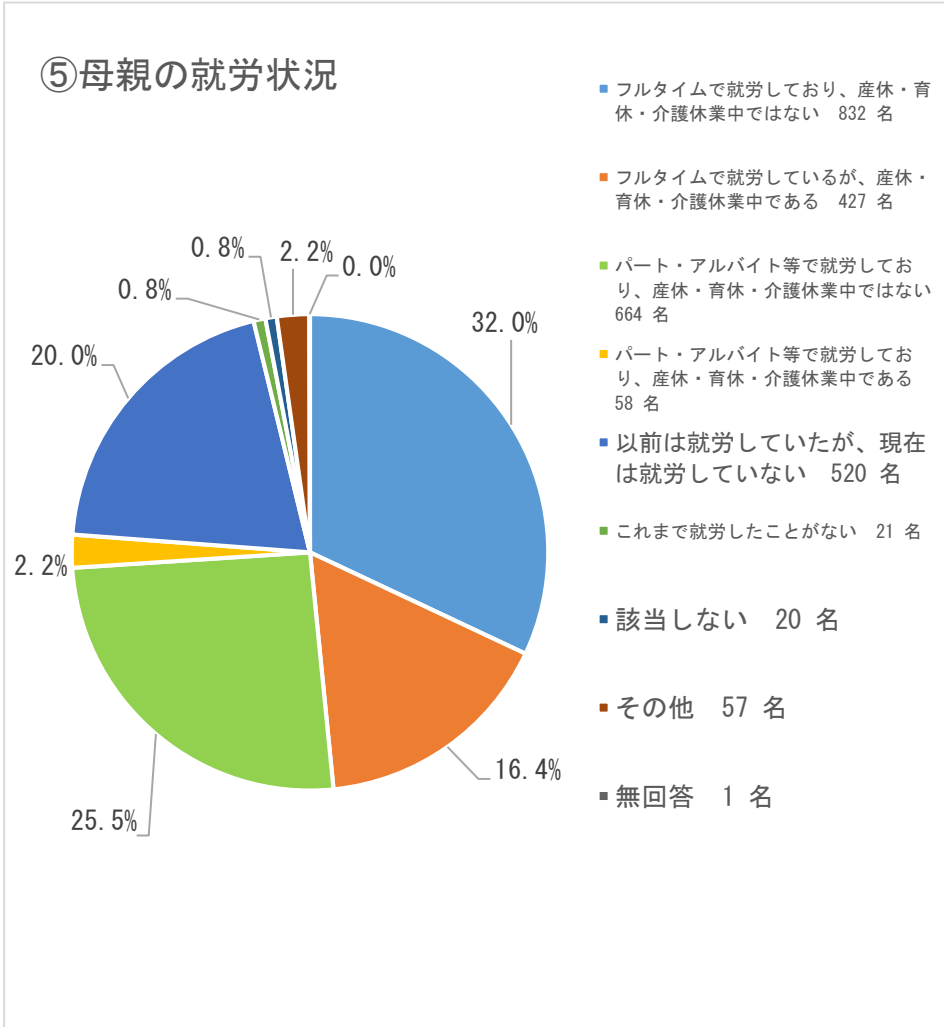
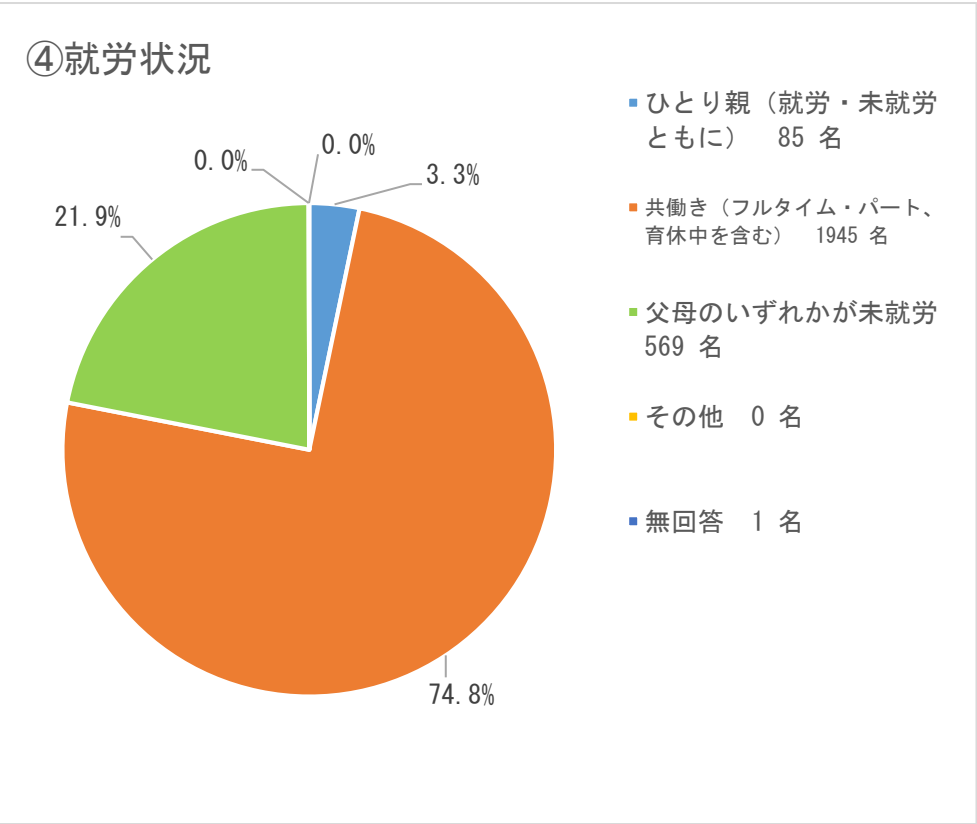
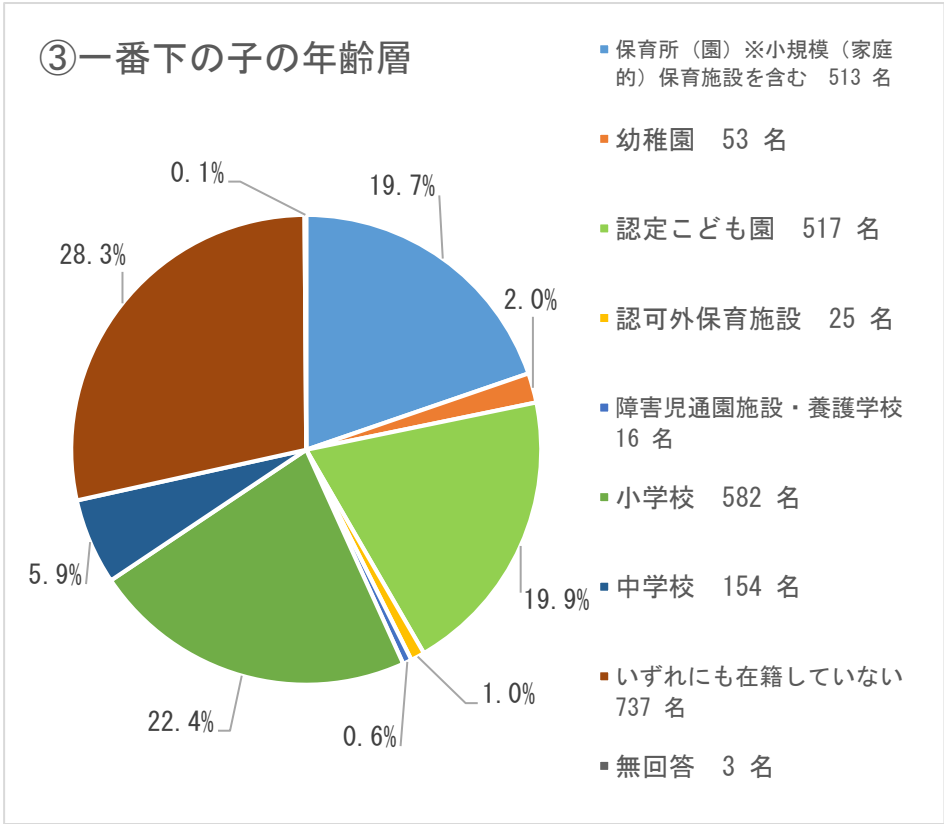
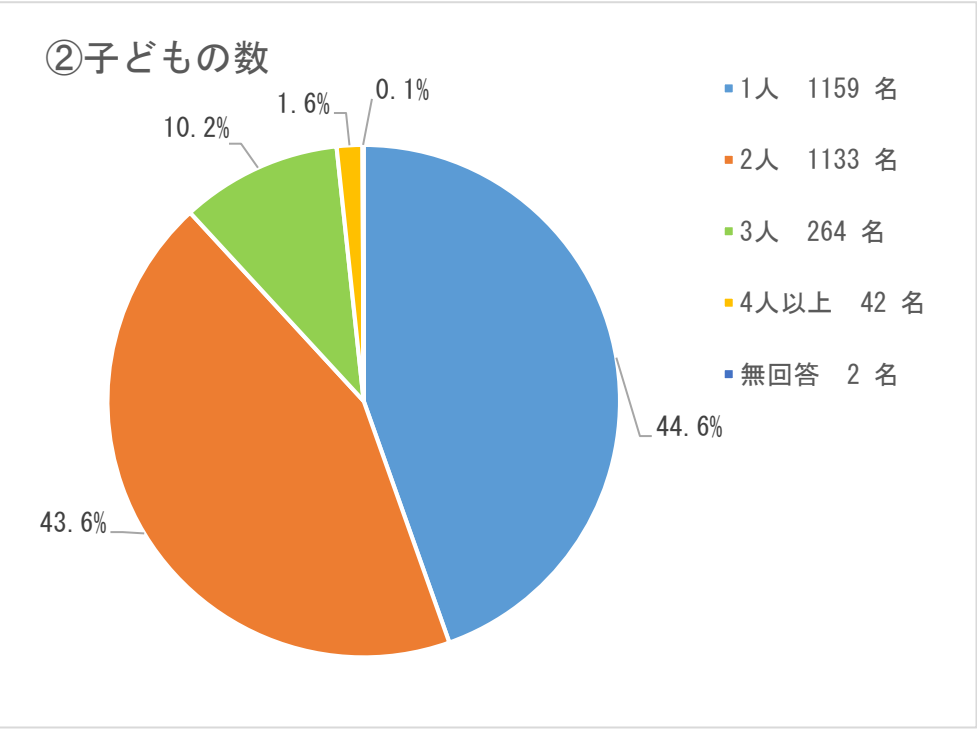
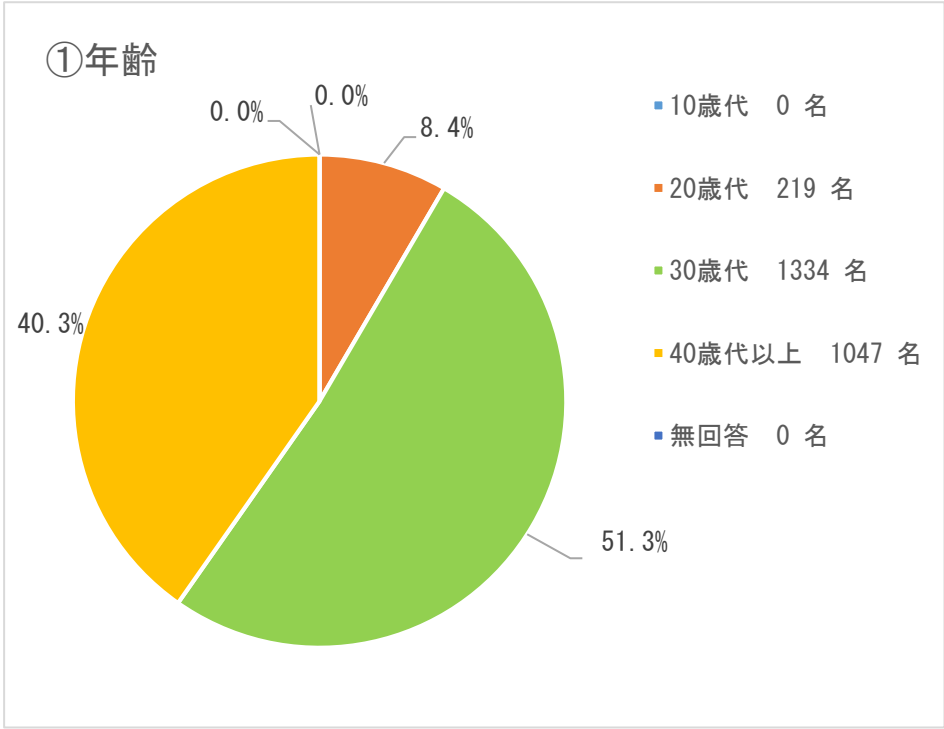
第二期草津市子ども・子育て支援事業計画

第6章 重点的な取組（子ども・子育て支援法 法定必須記載事項以外）

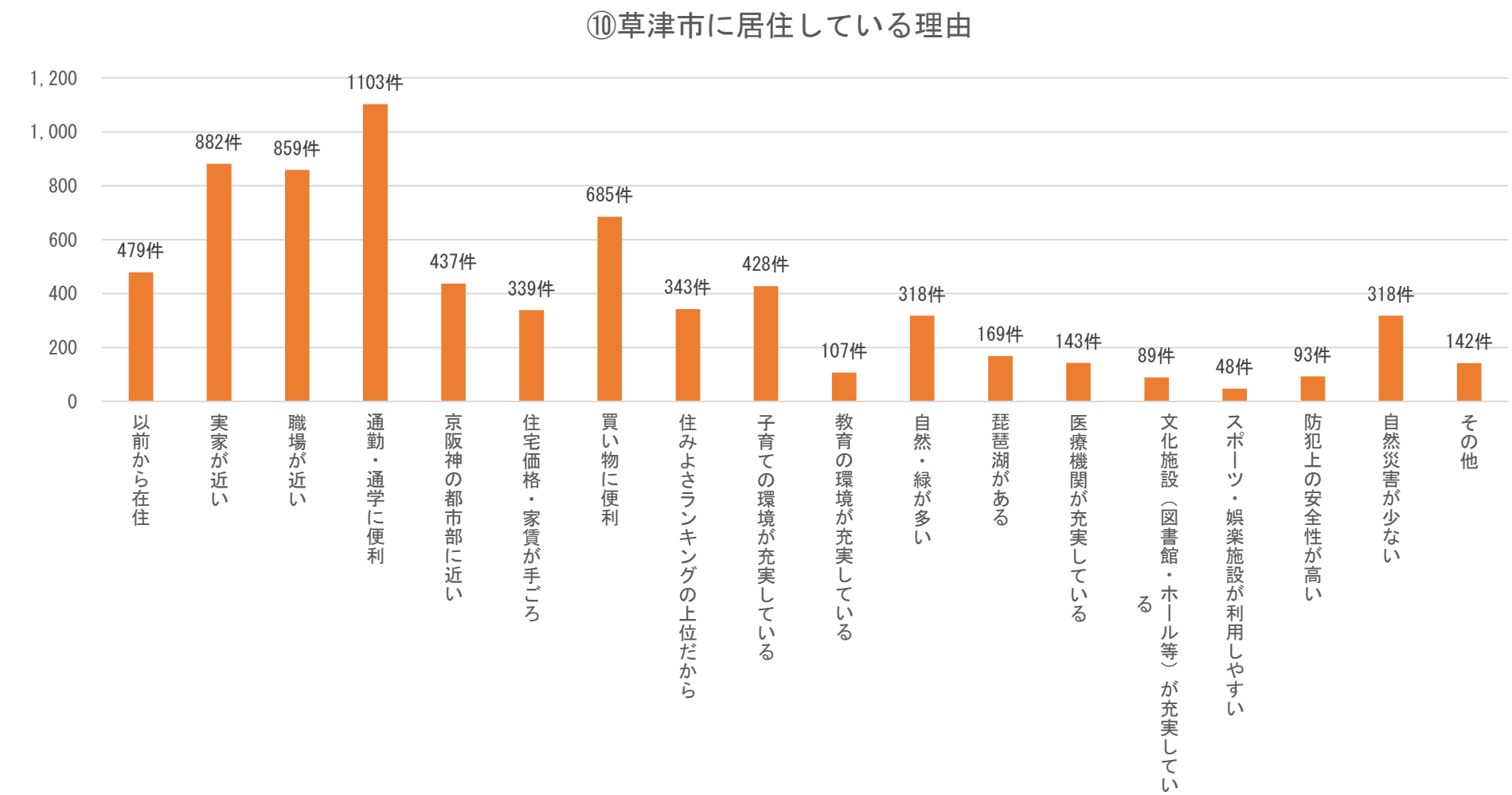
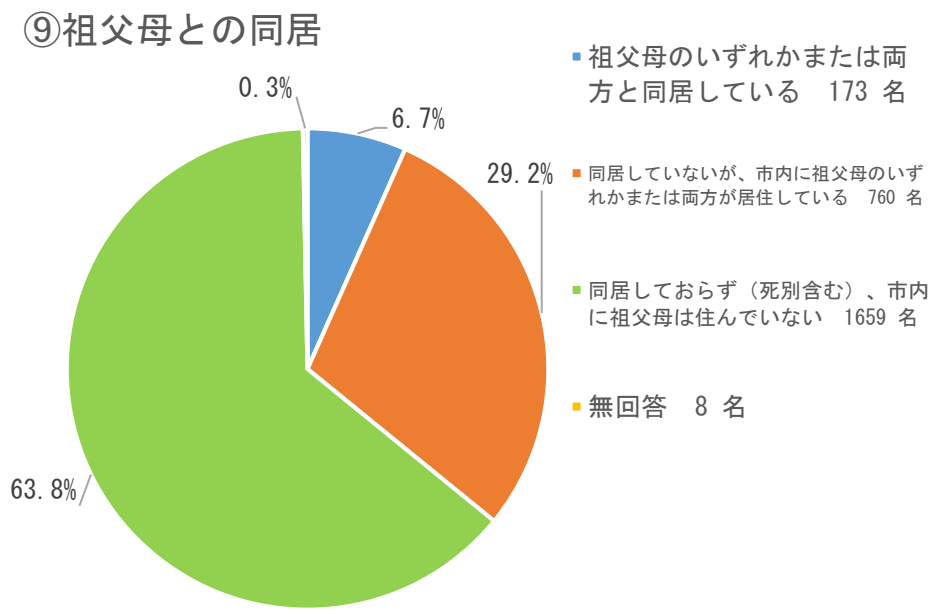
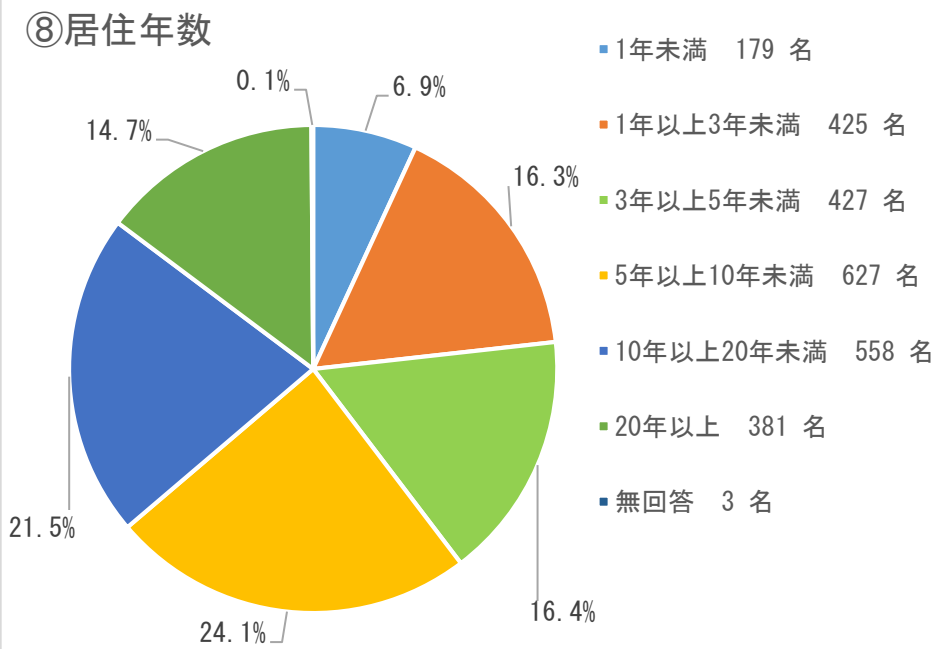
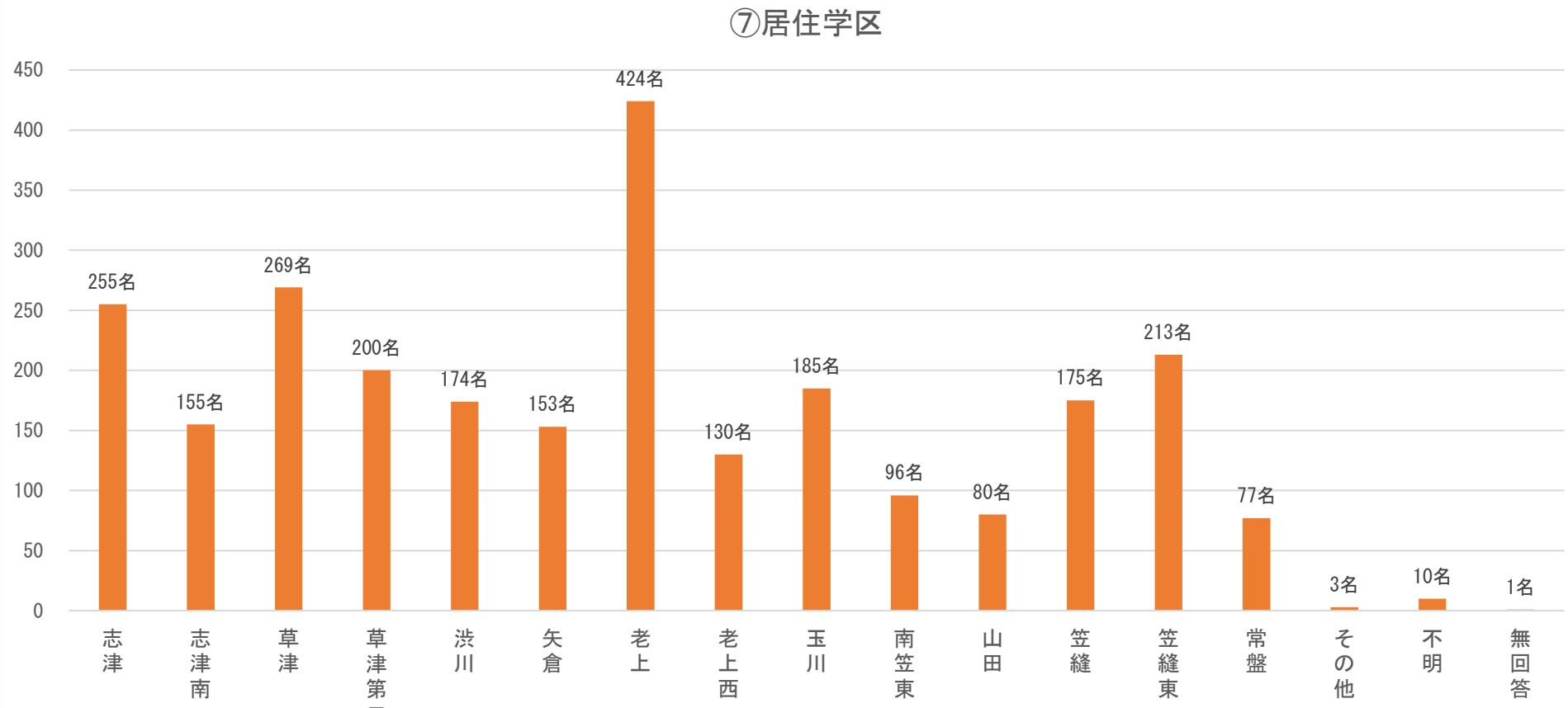
4 「草津っ子」育み事業の目標値

実績値	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
満足度	82.9%	84.5%	85.7%	87.5%	88.7%	87.7%	85.8%
計画値	R6年度						
満足度	88.0%						

「令和6年度 草津市子育てしやすいまちづくりアンケート」結果について

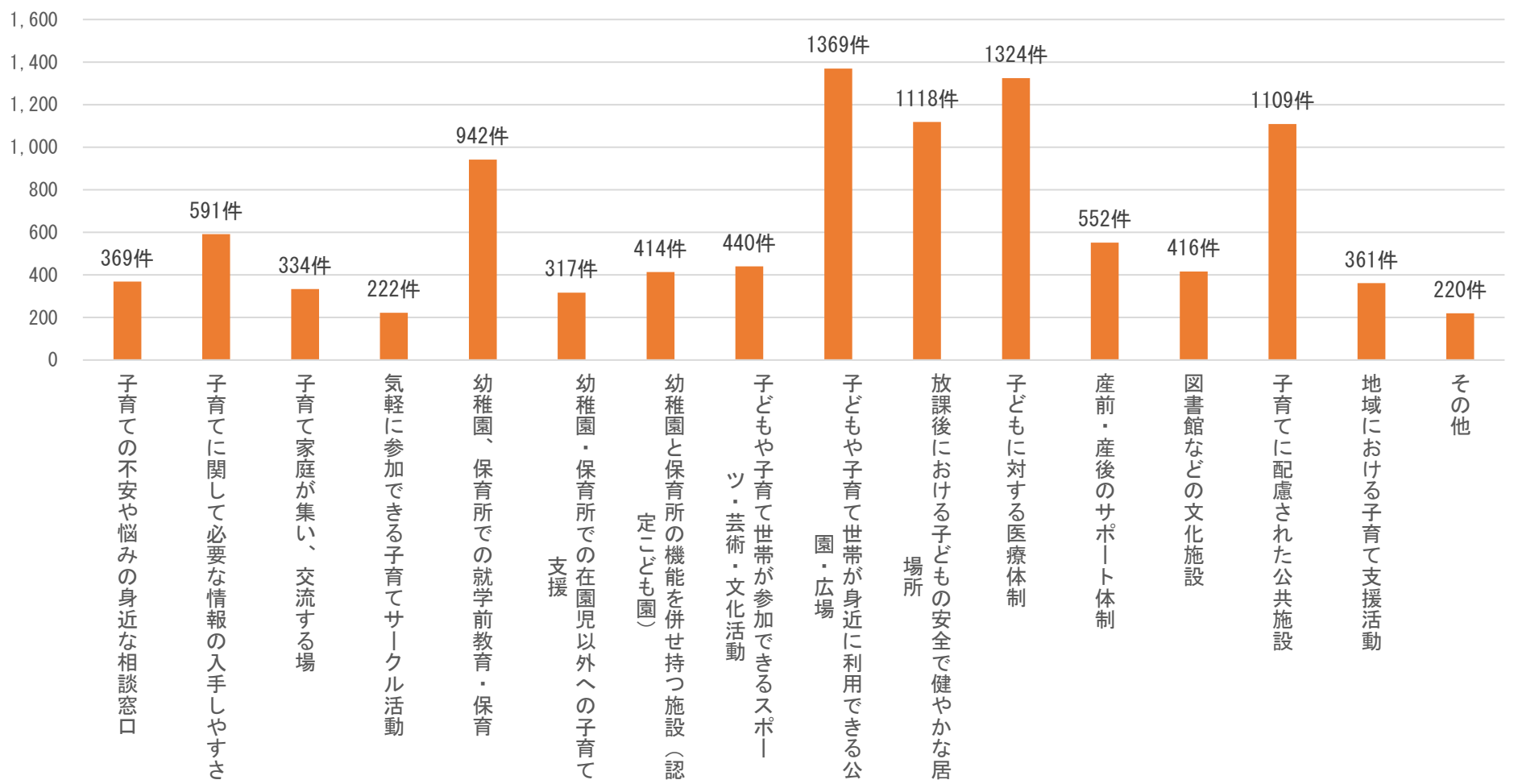


※グラフの構成比については、各項目で四捨五入をしており、合計が100%にならない場合があります。

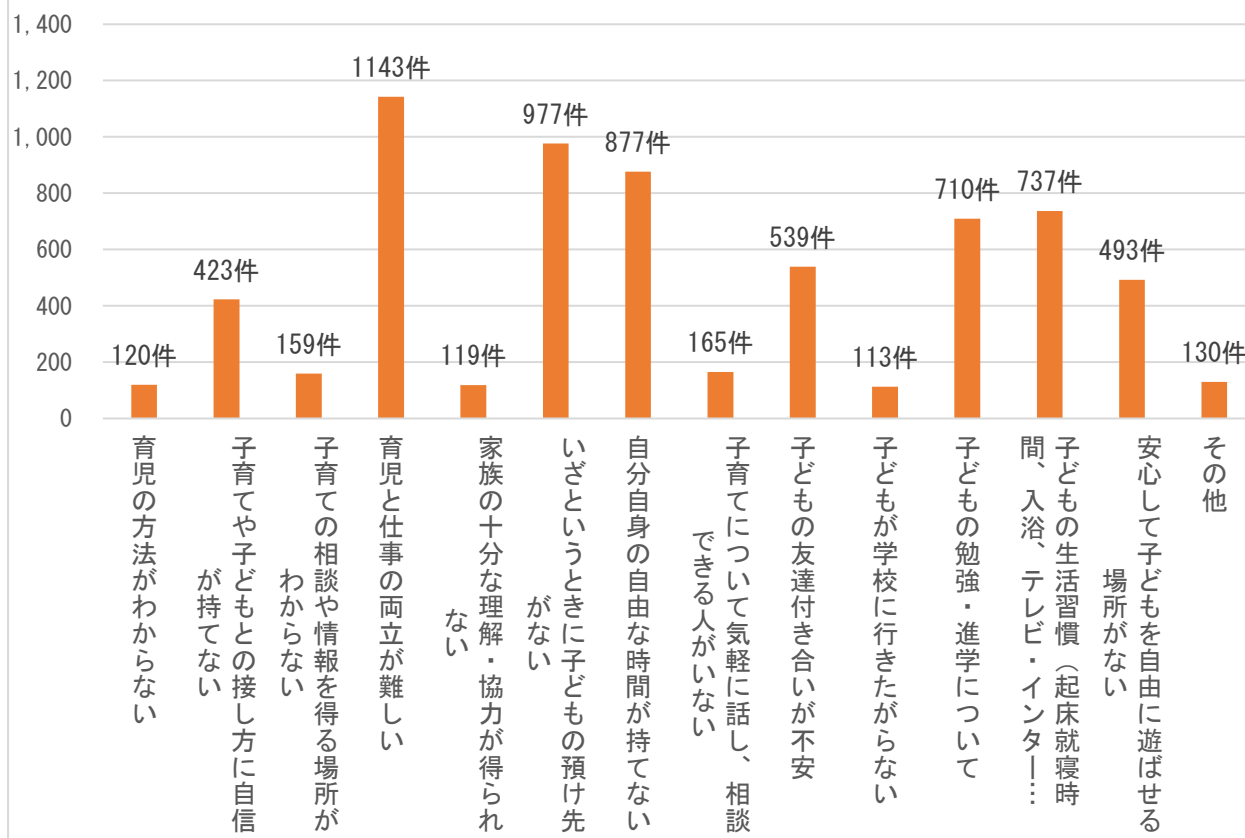


※グラフの構成比については、各項目で四捨五入をしており、合計が 100%にならない場合があります。

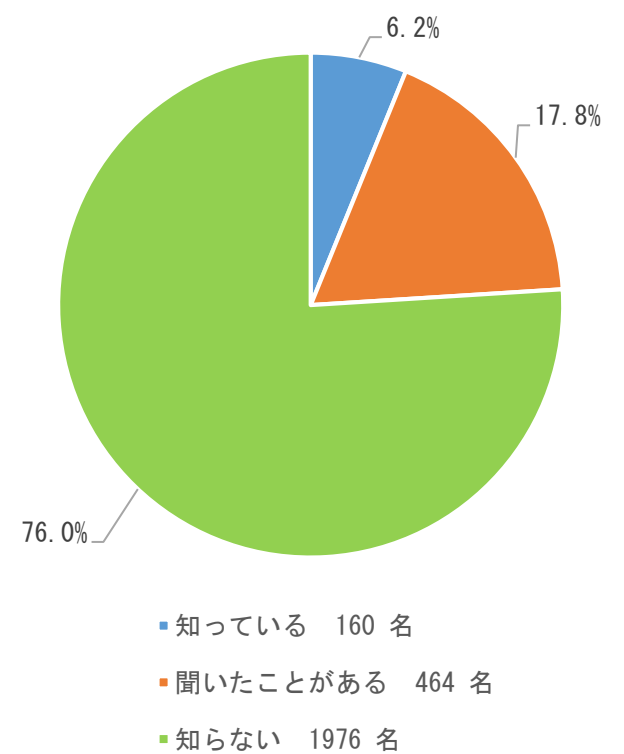
⑪充実してほしいもの



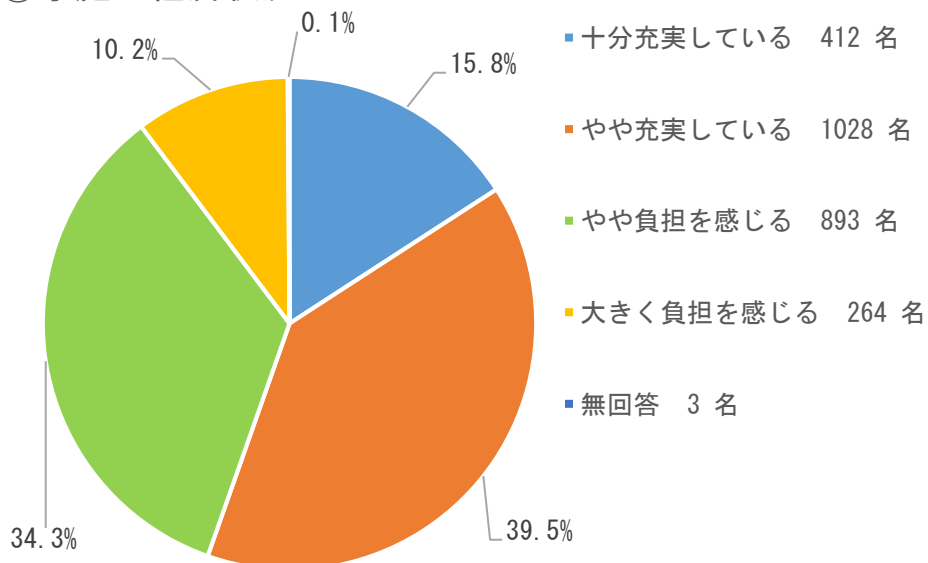
⑫子育てに関する不安や気になること



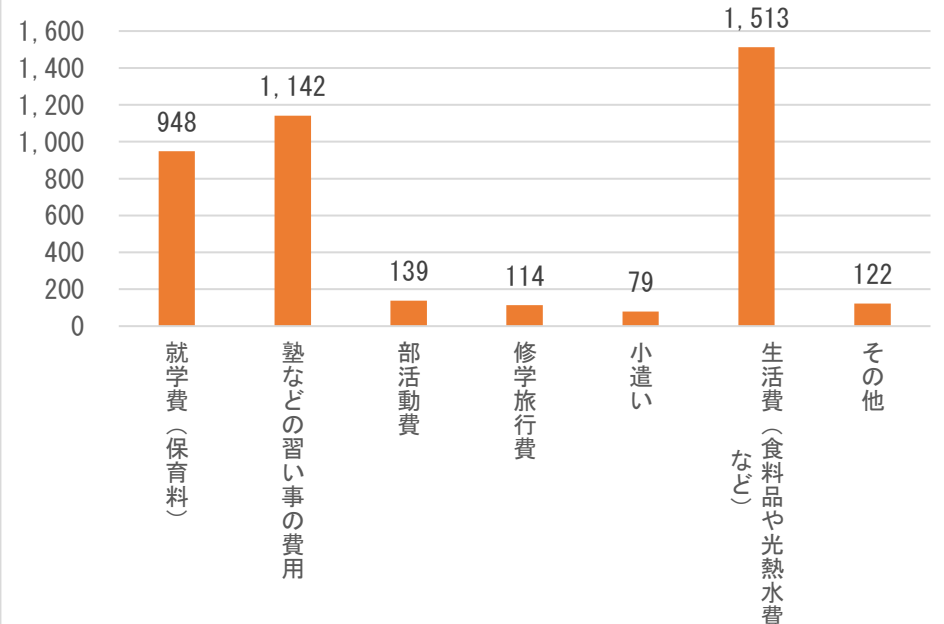
⑮「こどもまんなか社会の」認知度



⑬家庭の経済状況について



⑭子育てについての経済的負担

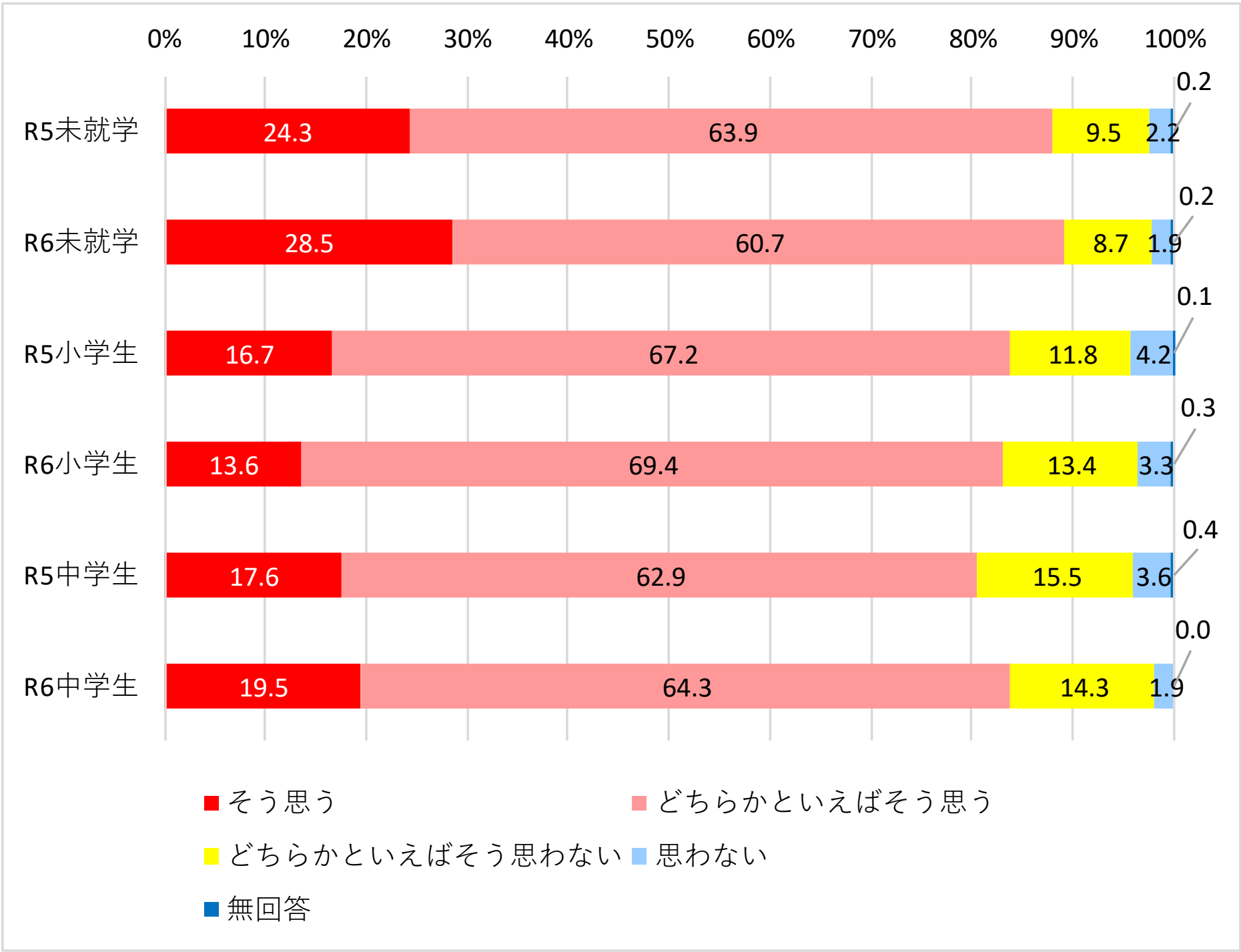


※グラフの構成比については、各項目で四捨五入をしており、合計が 100%にならない場合があります。

子育てしやすいまちづくりアンケート

問.草津市は子育てしやすいまちだと思いますか。

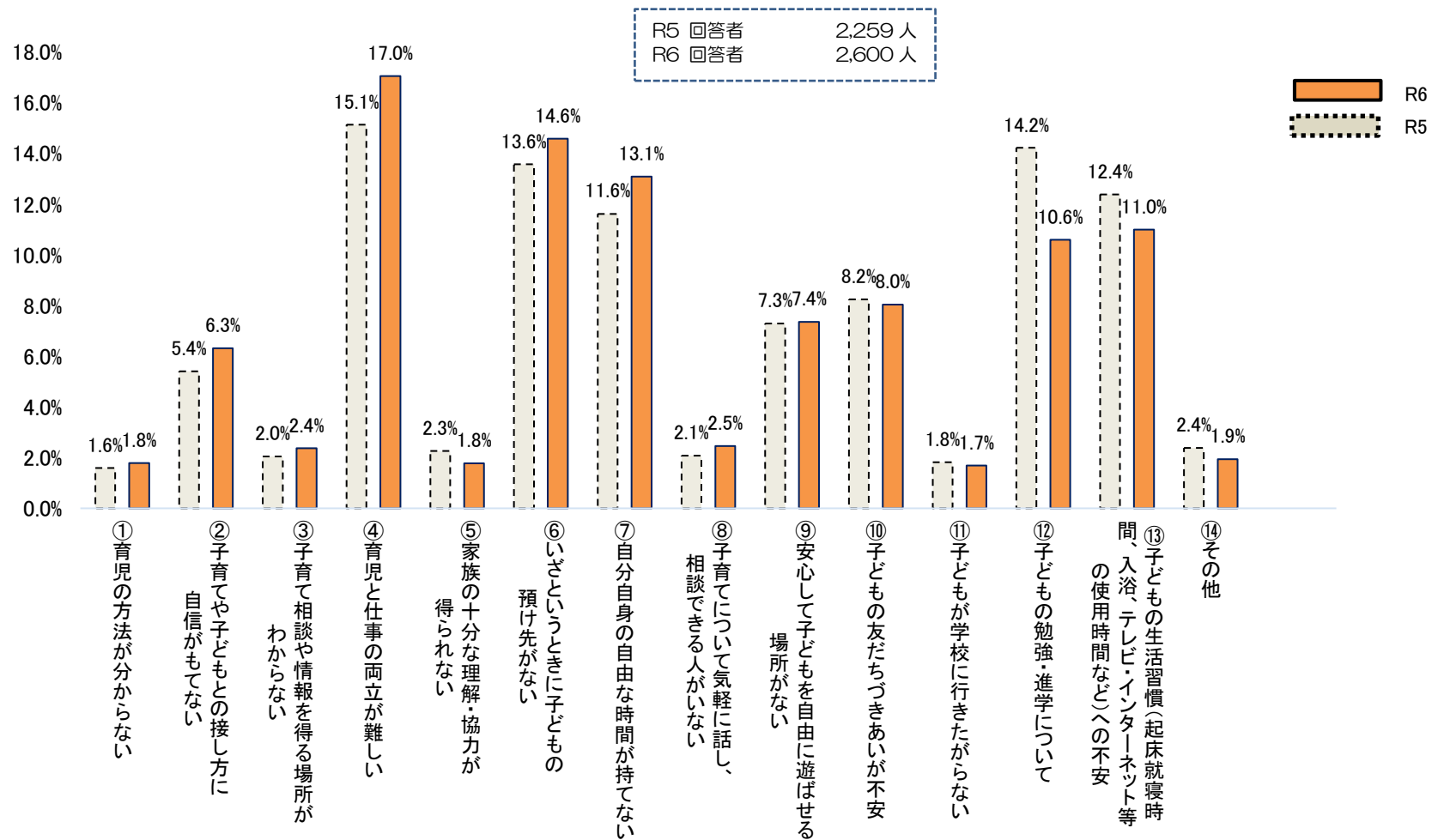
	そう思う	どちらかとい	どちらかとい	思わない	無回答
R5未就学	24.3	63.9	9.5	2.2	0.2
R6未就学	28.5	60.7	8.7	1.9	0.2
R5小学生	16.7	67.2	11.8	4.2	0.1
R6小学生	13.6	69.4	13.4	3.3	0.3
R5中学生	17.6	62.9	15.5	3.6	0.4
R6中学生	19.5	64.3	14.3	1.9	0.0



※グラフの構成比については、各項目で四捨五入をしており、合計が 100%にならない場合があります。

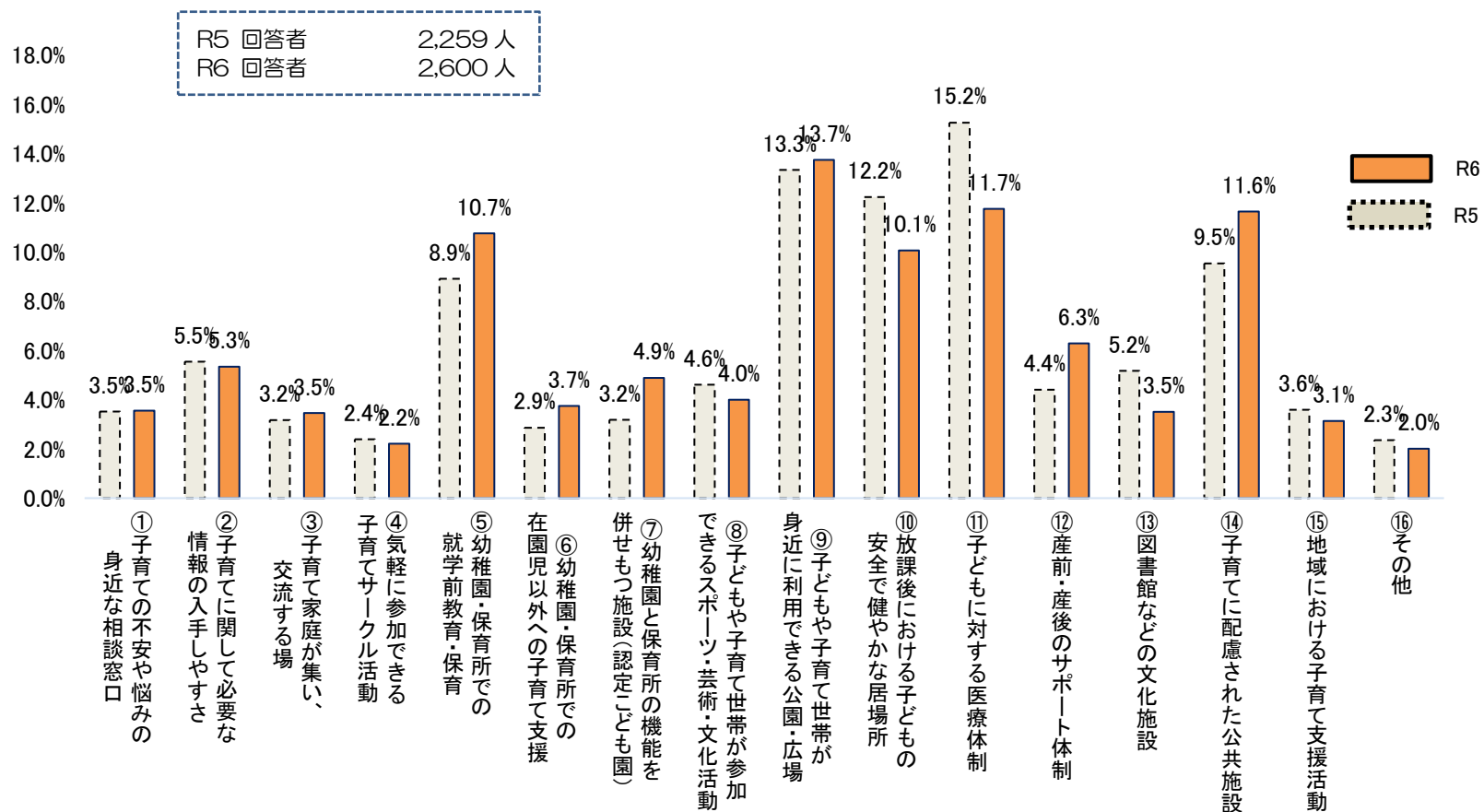
アンケート結果の分析（現状）※回答数に対する、回答者の割合で分析

（２）子育てに関して、日頃悩んだり、気になることはなんですか。（複数回答可）



- ・「④育児と仕事の両立が難しい」「⑥いざというときに子どもの預け先がない」「⑦自分自身の自由な時間が持てない」の回答割合が多く、保育施設や放課後等の預かりの場所をはじめとするこどもの居場所の重要性が高いことが推測される。
- ・「⑪子どもが学校に行きたがらない」「⑫子どもの勉強・進学について」等の学校や勉強についての回答割合が次いで多い。

(3) 子育てしやすいまちの要素として、重要と思うものを教えてください（複数回答可）



- ・こちらの問でも「⑨子どもや子育て世帯が身近に利用できる公園・広場」が最も多く、こどもの居場所が重要視されていることがわかる。
- ・次いで、「⑪子どもに対する医療体制」「⑭子育てに配慮された公共施設」等が必要とされている。
- ・「⑤幼稚園・保育所での就学前教育・保育」や「⑩放課後における子どもの安全で健やかな居場所」の回答割合も高く、保育所や児童育成クラブへの関心も依然として高いことがうかがえる。